



ゴルゴ13が教える 海外安全対策⑤



公共の場所では 「常に狙われている」心構えで!

©さいとう・たかを

海外旅行ブームや企業の海外進出などを背景として、日本人が海外に滞在する機会は飛躍的に増えています。しかし一方で、空港で所持品を盗まれる、ホテルで強盗に遭うなど、多くの人が出入りする場所で、日本人が事件に巻き込まれる例も増えています。

今回、ゴルゴ13は公共の場における安全の確保について注意を喚起すべく、メキシコに現れました。「ロビーでは荷物から目を離さない」という彼の助言は、犯罪の被害を未然に防ぐ基本とも言えますが、つい、うっかり忘れてしまいがちでもあります。空港、ホテル、または外出時の行動をもう一度見直し、自分の行動が犯罪を呼び込む形になっていないかどうか、怠りなく点検しましょう。

空港など多くの人が集う 場所は特に注意!

空港は多くの人が利用する場所ですが、窃盗、置き引きといった犯行に及びには好都合の場所と言えます。空港を利用する際は、すばやくチェックインを済ませてセキュリティの高い出発ゲート付近に移動し、不特定多数の人が立ち入ることのできるロビーには、あまり長く滞在しないようにするなどの工夫が必要です。また現地を出迎えの人と待ち合わせる場合には、あらかじめ確認方法を打ち合

わせておくことをおすすめします。事前の取り決めと異なり、「おかしい!」と感じたら、関係者に予定の変更を確認するといった慎重さを持ちましょう。自分は大丈夫と考えずに、ひと手間をかけ、隙を見せない動きを心がけることが、危険を避けることにつながります。

事前の学習で危険を避ける

このような現地での用心に加え、犯罪の被害を避ける知識を、あらかじめ習得しておくことも重要です。渡航先の宗教・風俗・法律などを調べ、現地の人々にとって違和感のある行動を控える、宗教的行事とかぶらないような行動計画を立てる、デモ・抗議集会には近づかない、このような心構えと準備により、思わぬトラブルに巻き込まれる可能性は軽減します。

外務省は、海外での安全を確保するために「海外安全ホームページ」を公開し、各国の宗教・風俗・法律に関する情報を公開しているほか、「たびレジ」を通して現地の政治情勢をタイムリーに発信しています。あらかじめ犯罪予防の知識を得ることに加え、「たびレジ」に登録してタイムリーに海外事情を把握することで、より安全な滞在を実現しましょう。



特設ページは「ゴルゴ13 海外安全対策マニュアル」で検索!
興味を持った方は「海外安全ホームページ」で検索!
海外安全アプリは App Store または Google Play でダウンロード可能